

佐賀県立宇宙科学館

佐賀県の海の語り部講座-古代編-

実施期間：平成29年1月21日（土）～平成29年3月31日（金）



1回目の講座の様子



2回目の講座の様子



3回目の講座の様子



4回目の講座の様子

【事業の内容・目的】

- 佐賀県の大地上に刻まれた海の痕跡（化石）から、古代の海洋生物の多様性や数千万年に及ぶ海洋環境の移り変わりを学び、これからの海について考える講座として実施しました。
- 講師には各分野の専門家をお招きし、小学校3年生以上の受講者に対して、専門的な内容をわかりやすく解説していただきました。また、質疑応答の時間を長く設け、実物化石などの標本に触れ、生体展示と一緒に観察することで、海洋生物への興味と関心を高めました。
- 全5回の講座のうち、3回以上受講した方には、「海の語り部」認定証を配布し、希望者には当館のボランティアとして登録することで、海の学びを広める人材育成の場としても実施しました。

活動の様子

1. ペンギンモドキと海辺の鳥たち

【開催日時】平成29年1月21日（土）13:00～14:30

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 ものづくり工房

【参加者数】11人

【活動内容・目的】

- 脊椎動物化石の専門家である岡崎美彦博士を講師として迎え、高次捕食者とされる海鳥の多様性や古代の海の豊かさを学びました。
- 海鳥の体のつくりを学ぶことで、生き物の適応能力や当時の環境についても学びました。
- 古今の海鳥を比較することで、何が変わり、何が変わらなかったのかを受講者全員で考え、海と生き物の関係について考えました。



岡崎美彦博士による講座の様子



各回限定の受講記念ピンバッジ



全員で海鳥について考えている様子



アンケートを記入している様子

講座から、海鳥が海に適応していく中でどのように体型を変化させたのかを学び、海洋環境が生物に与える影響の強さを考える機会としました。さらに、大昔の佐賀県の海辺では多様な鳥類が生息し豊かな生態系が培われていたことを紹介しました。受講者には、現在の佐賀県の海鳥と比較していただき、古今の海について考察していただきました。今回の講座では、過去から現在まで続く地域の海辺の生態系が豊かであることを学び、興味関心を高め、恒久的な保全活動への理解を促す機会となりました。

2. 佐賀県近海にいた巨大オウムガイ

【開催日時】平成29年2月4日（土）13:00～14:30

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 ものづくり工房・エントランス

【参加者数】15人

【活動内容・目的】

- 頭足類化石の専門家である西田民雄博士を講師として迎え、“生きた化石”とされるオウムガイをテーマに、海洋生物の絶滅や海の環境変化の影響について学びました。
- 佐賀県で発見された世界最大級のオウムガイ化石だけでなく、現在の東南アジアに生息する種類の生体も一緒に観察することで、古代と現代の海を関連付けて学びました。



西田民雄博士による講座の様子



化石と生体の展示の様子



展示物の前での解説の様子



質疑応答の様子

この講座では専門的な解説を通して、“生きた化石”とされるオウムガイの生態や進化について学び、地球の歴史と生き物の絶滅について考えていただく機会として実施しました。また、実物化石や生体展示を観察しながら、大昔の九州近海に多数生息していたオウムガイが、なぜいなくなったのかを考え、海洋環境の変化を考察する機会となりました。

3. 多様な古代ザメの世界

【開催日時】平成29年2月11日（土）13:00～14:30

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 ものづくり工房・ゆめぎんがアクアリウム

【参加者数】11人

【活動内容・目的】

- サメ化石の専門家である高桑祐司博士を講師として迎え、サメの進化や多様性、生態的な特徴を学び、古代の佐賀県近海の生態系の豊かさについて学びました。
- 佐賀県や海外で発見されたサメの歯化石だけでなく、現在のサメの顎の標本、生体も一緒に観察することで、古代と現代の海を関連付けて学びました。



高桑祐司博士による講演の様子



質疑応答の様子



標本観察の様子



生体観察の様子

アオザメのような遊泳性のサメからネコザメのような底性のサメまで、多種多様なサメが佐賀県近海に大昔から生息していることを学び、古今の海辺の生態系の豊かさを知る機会として実施しました。また、海のハンターとして特殊化したサメの能力を紹介し、サメへの興味と関心を高める機会としました。さらに、実物化石や顎の標本に直接触れたり、生きているサメを観察したりすることで、講師と受講者だけでなく、受講者同士の会話が弾み、古今のサメの違いや、当時の海の様子について全員で考えることが出来ました。

4. カニと貝の化石からわかる古代の浅瀬

【開催日時】平成29年2月18日(土) 13:00 ~ 14:30

【開催場所】佐賀県立宇宙科学館 ものづくり工房・化石クリーニングルーム

【参加者数】13人

【活動内容・目的】

- 無脊椎動物化石の専門家である安藤佑介博士を講師として迎え、古代の浅瀬に生息していた海洋生物の多様性を学びました。
- 佐賀県産化石を中心とした多様な化石を観察することで、それぞれの生き物がどのような場所に生息していたのかを学び、生き物と海との関係について学びました。



安藤佑介博士による講演の様子



化石の観察の様子



形の違いを解説する様子



化石クリーニングの実演の様子

カニや貝などの化石について学び、大昔から現在まで続く海辺の生き物の多様性の高さを知る機会として実施しました。専門的な解説だけでなく、実物化石を用いることで、海洋生物の多様な形を直感的に学び、化石クリーニングの実演を通して、海洋生物の研究への関心も高めることが出来ました。この講座を通して、ラムサール条約登録湿地である県南部の干潟や対馬暖流により北上してきた生き物が生息する北部の浅瀬などへの興味と関心を高める機会となりました。